

【講師割引申込用紙】

※ この申し込み用紙は切り離さず、そのままお送り下さい。FAX：03-5740-8766
 ※ 弊社HP (https://johokiko.co.jp/) よりお申し込み頂く場合は備考欄に 講師割引番号「C-224」 を記載して下さい。



＜講師割引適用について＞

- ・割引額はそれぞれの下記料金より、1名ご参加の場合 ¥10,800円引き、2名以上参加の場合 通常の同時申込割引から更に1名につき¥2160円引きとなります。
- ・割引の適用条件としては、本申込用紙にてfax申し込みされた方、弊社HPにて講師割引番号を記載の上、お申し込みを頂いた方に限らせていただきます。また場合によっては講師にご確認を取らせていただく場合がございますので、その点ご了承下さい。
- ・その他割引との併用はできません。

「製造業の品質を向上したい!」「リスクを洗い出したいけど考え方がわからない・・・」「リスクの正しい解析手順を知りたい!」「事例や演習を通じてより理解を深めたい!」という方にお勧めのセミナー。
 FTA/FMEAの手法を中心に品質向上の方法について徹底解説します!!

WEBでの検索は→「情報機構 AA1904A4」

＜製造におけるリスクの考え方＞FTA/FMEAを駆使した品質向上 ～潜在不具合の未然流出防止対策～

● 講師 合同会社高崎ものづくり技術研究所 代表 濱田金男 先生

● 日時 2019年4月10日（水） 10:30-16:30

● 会場 [東京・大井町]きゅりあん

● 受講料 1名46,440円(税込(消費税8%)、資料・昼食付)
 *1社2名以上同時申込の場合、1名につき35,640円

■ 講座のポイント

安全・安心な製品を市場に供給することは製造業に課せられた使命です。各企業においては、製品固有の使用環境に照らして、製品の設計時点、製造工程の設計時点でリスクの洗い出しと評価を行い、流通後において想定外の不具合発生を防止するとともに、リスクが社会的に許容可能な大きさとなるまで低減させるための対策を講じなければなりません。

本講座では、リスクアセスメント(リスクの大きさを評価する)、FMEA(想定外の不具合を設計時点ですべてリストアップし対策する)、FTA(既知の不具合の再発防止)など、その目的に応じたアセスメント手法の目的、解析手順を理解することを目的とします。

■ 受講後、習得できること

- ・リスクマネジメントによる体系的リスク管理のしくみ
- ・リスクアセスメントによるリスク評価手法
- ・FMEA解析手法
- ・FTA解析手法

■ 本テーマ関連法規・ガイドラインなど

- ・JISQ31000:2010「リスクマネジメント規格」
- ・経済産業省 リスクアセスメントハンドブック
- ・R-MAP手法(日本科学技術連盟)

■ 講演中のキーワード

- ・故障モード
- ・ボトムアップ型設計・トップダウン型設計
- ・小規模設計チームで導入可能
- ・トラブル未然防止の設計手法
- ・デザインレビュー

■ 講師経歴

1971年4月 沖電気工業株式会社入社(高崎事業所製造部)
 1979年4月～ 高崎事業所技術部 チームリーダー
 1998年4月～ 同生産改革推進部 チームリーダー
 2001年9月～ 沖電気実業(深セン)有限公司 品質管理部長
 2004年5月～ 加達利(香港)有限公司入社 品質保証部長
 2007年4月～ 東邦工業株式会社 上海支社長
 2014年2月～ 高崎ものづくり技術研究所 代表
 2017年8月～ 合同会社高崎ものづくり技術研究所 代表社員

1. 設計品質作り込みのしくみ

- 1.1 ISO9000:2015マネジメントシステム
- 1.2 IATF16949(TS16949)の要求事項
- 1.3 設計システム(プロセスと技術)
- 1.4 認定(validation)から査定(assessment)へ

2. 信頼性設計技法・手法

- 2.1 ハードウェアの信頼性設計技術
- 2.2 SEM(ステータス イベント マトリクス)
- 2.3 システムの信頼性設計技術
- 2.4 リスクマネジメントとは
- 2.5 リスクアセスメントとは
- 2.6 R-Map手法によるリスク分析手法
- 2.7 食品工場のリスクマネジメント事例

3. FMEA・FTA導入、8つの重要ポイント

- 3.1 FMEAを導入する目的は何か?
- 3.2 ボトムアップ解析とトップダウン解析の違い
- 3.3 故障モードとは
- 3.4 設計流用度によって異なる解析手法
- 3.5 影響度/発生頻度/検出度の評価基準
- 3.6 未然予防/信頼性・安全性設計の進め方
- 3.7 FMEA導入時の検討課題
- 3.8 工程FMEAの進め方

4. FMEA事例研究

- 事例1: 部品の疲労破壊事例
- 事例2: 組み込みソフトを含む製品の事例
- 事例3: プレス部品の簡易評価法実施手順
- 事例4: トヨタグループが推奨するDRBFMとは

5. FTA事例研究

- 事例1: 定性的解析: ファンヒータの火災防止対策
- 事例2: 定量的解析: モータが回転しない確率(故障率)
- 事例3: 定性的解析: 電気ケトルの火傷防止対策
- 事例4: 定性的解析: 部品の疲労破壊防止対策

6. 演習問題

- ＜演習問題1＞ FMEA解析
 - ＜演習問題2＞ FTA解析
 - ＜演習問題3＞ アセスメント手法
- 質疑応答

講師割引申込

本講座料金より ¥10,800 引き
 2名以上参加 更に ¥2,160 引き

セミナー名		FTA/FMEAを駆使した品質向上			開催日		4月 10日	
会社名		住所	〒					
所属・役職		TEL		FAX				
受講者	e-mail	上司氏名		e-mail				
備考欄								

今後ご希望の案内方法にレ印を記入下さい(複数回答可) e-mail FAX 郵送 不要

＜申込要領＞

以下ご了承の上、お申込み下さい

1. お申込確認後、受講券、請求書、会場の地図等をお送りいたします(申込者数が最小催行人数に達していない場合、開催決定まで受講券等の発送を見合わせて頂く場合がございます)
2. 受講料のお支払いは、原則として開催日までお願いいたします。後日になる場合は予定日をご明記ください。当日会場でのお支払いも可能です。
3. 申込後、ご都合により講習会に出席できなくなりました場合は、代理の方がご出席ください。止むを得ず欠席の場合、弊社事務局宛に下記迄ご連絡下さい
 ※※原則、お電話での受付は致しかねます※※
 (受付時間9:00-17:00) 連絡先→ req@johokiko.co.jp
 弊社からの受領確認メールを持って受付完了とさせていただきます(弊社からのメールが翌営業日中迄にない場合はお手数ですがご一報下さい)。
 以下の規定に基づき、料金を申し受けます。
 ※開催日から逆算して(土日・祝祭日除く)
 ・講座3日前～4日前での欠席ご連絡: 受講料の70%
 ・講座当日～2日前での欠席ご連絡: 受講料の100%
4. 原則として銀行振込の場合領収証は発行致しません。振込手数料はご負担下さい。
5. 最小催行人数に満たない場合等、事情により中止になる場合がございますがご了承下さい。

ご連絡頂いた、個人情報は弊社商品の受付・運用・商品発送・アフターサービスのため利用致します。今後のご案内希望の方には、その目的でも使用致します。今後のサービス向上のため「個人情報の取扱に関する契約」を締結した外部委託先へ、個人情報を委託する場合があります。個人情報に関するお問合せ先 policy@johokiko.co.jp